

◎新体制で挑む初めての大会 (山岳部)

令和5年度福井県高等学校春季総体登山大会
場所：福井県敦賀市野坂山、西方・蝶螺（さざえ）が岳
日にち：令和5年6月1, 2, 3日

私たち山岳部は6月1、2、3日の3日間で行われた福井県高等学校春季総体登山大会に出場しました。

1日目は野坂山に対戦相手である武生高校、藤島高校と登りました。

登る前に重量検査があり、10kg以上でなければ特区间（ある地点から指定された場所まで間の区間を制限時間内に登るとい個人競技）の表彰対象にならないので全員が10kgを持つように調整をしました。

登り始めは、特区间のスタート地点まで全員で登りました。特区间は男子敦賀→武生→藤島（女子も同様）の順番で登り、男子は65分以内、女子は70分という制限時間のなかで、敦賀高校は男子も女子も全員が制限時間内に登ることができました。頂上で休憩をとった後、下山するときに地点確認という登山道にA, B, Cのフラグが立っていて、その地点は地図上でいどこなのかを記す競技（チーム戦）があり、男子も女子も全問正解することができました。また、下山後すぐにそれぞれ必要なものを持っているか確認する装備審査が行われました。

宿泊地である三方青年の家についた後、すぐに設営審査という競技があり、10分以内にテントを各チームが張りました。その後行われた炊事審査では、それぞれが美味しい料理を作ることができました。本来であればチームごとにテント内で泊まる予定だったのですが、あいにくの天候で、三方青年の家の室内に泊まることになりました。また、天候により、次の日に登る西方・蝶螺が岳は本来なら西方ヶ岳と蝶螺が岳を登るところを、西方ヶ岳のみをピストン（往復）するという事になりました。

2日目は警報が出されると予想されたのでこの日の登山行動が中止となりました。私達にとってはこの日に登る山を入念に下調べし、万全な状態であっ

たので、登れなかったことがとても悔しかったです。登山行動がなくなった分の時間が大幅にあったので、まず先に天気図や救急・自然観察・気象の各種審査が行われました。その後、共に行動していた新聞記者であり、気象予報士でもある方に今日のような天気の場合の警報の出方などのお話を聞き、また看護師の方に登山行動中、怪我をした場合の応急処置、そして武生高校の先生にロープワークを教えてくださいいただきました。また午後からは生徒交流会があり、各学校の紹介やクイズ大会などをし、お互いの親睦を深めることができました。

3日目は結果発表があり、大会委員長である松沢先生から良かった点や悪かった点などの講評をいただきました。まず特区间では1位～6位までが表彰され、敦賀高校は男子部門では2名、女子部門でも2名が表彰されました。次に優秀校の発表（1位、2位）があり、武生高校と敦賀高校が選ばれました。最後にインターハイ出場権獲得校が発表されましたが、男子も女子も武生高校が選ばれました。男子は武生高校と4.25点差で、女子は武生高校と5.9点差で負けてしまって少し気をつけていれば、点数が取れていたところで点を落としてしまっていました。

今回の大会は予定変更があり、本来の予定と大幅に変わって少々戸惑う大会でしたが、他校の生徒と交流を深めることができたのはとても良かったと感じています。先輩方にとっては今回で最後の大会であり、最後に悔しい結果で終わってしまい、また、もう一緒に登れないんだと思うととても残念な気持ちでいっぱいです。

今回の大会は、負けたことにより自分たちが改善しなければならぬ点、どこで点を落とし、どう改善すればよいのかなどが明確になった大会でもありました。

敦賀高校男子は2年間、女子は1年間優勝旗を手にすることができていません。3年生は今回の大会で最後ですが、1、2年生はまだ優勝旗を手にするチャンスがあります。今回の大会で得られた悔しさと反省を糧に、来年の春季総体まで精一杯頑張っ準備していきたいと思います。

今回の大会はどんな結果であれチームメイト全員が安全に下山をすることができ、本当に良かったなと思います。また、開催して下さった主催者の方々、応援して下さった先生方や家族には感謝の気持ちでいっぱいです。そして私がキャプテンとしてチームを引っ張っていくには未熟なところがたくさんあり、それが今回の大会で現れた部分もありましたが、助け合い、そして私についてきてくれたチームメイトには感謝しても感謝しきれません。

3年生の先輩方は勉強や個々の活動でお忙しい中、様々な準備を下さり本当にありがとうございました。1年生や2年生も様々な面で協力し、助けて下さりありがとうございました。明日からは新体制での活動になりますが、今後ともよろしくお願ひします！



(炊事審査を受けている時)



(応急処置の仕方についての講習を受けている時)



(テント設営している時)



(テント設営している時)

投稿者： 2年 荒井 和伽奈 (松陵中出身)